

關係詞①

All Rights Reserved, Copyright (C)
Donovan School of English

Overview

- 関係詞とは...
 - 関係詞の定義
 - 2種類の関係詞 (関係代名詞 + 関係副詞)
 - 2つの用法 (制限用法 + 非制限用法)
- 関係代名詞
 - 関係代名詞の判別
 - 関係代名詞の制限用法 (主格・目的格・所有格)
 - thatの方が好まれるケース
 - 関係代名詞の非制限用法 (主格・目的格・所有格)
 - 関係代名詞what
- 関係副詞
 - 関係副詞の判別
 - 関係副詞の制限用法 (when・where・why・how)
 - 関係副詞の非制限用法 (when・where)

関係詞とは

関係詞とは...(1)

関係詞は、同一の情報を繰り返さず**節**と**節**を結び付ける**接着剤**の役割を果たす。

e.g. I sent a letter to my wife, **who** lives in New York.

① I sent a letter to my wife. + ② My wife lives in New York.

関係詞を用いると“my wife”という情報の重複を避けることができる。

関係詞とは...(2)

関係詞は2種類に分けられる。

- 関係代名詞 –

関係詞節(=関係詞が導く節)の中で**代名詞**の役割を担う

- 関係副詞 –

関係詞節の中で**副詞**の役割を担う

※関係詞節の例

the student ((**who** has gone to Europe))

the place ((**where** we took pictures))

whoと**where**が関係詞で、それらが導く節は**関係詞節**と呼ばれる。

関係詞とは... (3)

関係詞の役割

①制限[限定]用法の場合

関係代名詞・関係副詞が導く関係詞節は、**形容詞**として名詞や名詞句をうしろから修飾し、それら（=**先行詞**）の**意味を制限・限定する**。

(関係詞節はSVを伴うぶん、通常形容詞より詳しく先行詞を述べることができることが特徴。)

和訳の方法 **-訳しあげる-**

関係詞とは... (4)

関係詞の役割

②非制限[継続]用法の場合

先行詞をそれ以上、制限・限定しなくてもその意味を判断できる場合は、先行詞と関係詞の間にコンマを置いて非制限用法にする。その場合、先行詞の意味を制限・限定するのではなく、先行詞に補足情報を付け加えた意味になる。

補足情報を付け加える際、接続詞and(そして)/ but(しかし)/ for(というのは)を補って解釈する。

和訳の方法 -訳しおろす- (試験で訳しあげると×になるので注意しよう！)

關係代名詞

関係代名詞の判別(1)

関係代名詞は、**格・先行詞**によって形が変わる。

	主格 (関係詞節中で主語)	所有格 (名詞の直前について「所有」の意)	目的格 (関係詞節中で動詞や前置詞の目的語)
人	who / that	whose	who / whom / that
人以外	which / that	whose	which / that
×	what	—	what

関係代名詞の判別(2)

✓ 主格 – who / which / that

関係詞節中で主語(S)の役割を果たす

the man ((who (S) sent(V) a letter(O) to me(M)))

✓ 目的格 – who / whom / which / that

関係詞節中で動詞(V)の目的語(O)や前置詞(Prep)の目的語(O)の役割を果たす

the man ((whom (O) we (S) like (Vt) a lot (M)))

the pen ((which (O) you (S) are writing (Vi) with (Prep)))

✓ 所有格 – whose

関係詞節中で直後に名詞をもつ

the students ((whose fathers (名詞) are attorneys))

the singer ((whose song (名詞) you are listening to))

関係代名詞の判別(3)

thatの使用に関するルール

✓ **that**は、**who, whom, which**を代用することができるが、**whose**を代用することはできない。

✓ 前置詞の直後に関係代名詞**that**を置くことができない。

e.g. ○... on which / ×... on that

○... at who / ×... at that

✓ **that**は非制限用法で用いられない。

e.g. ○...Coffee, **which** tastes bitter, is very popular.

「コーヒーは苦いものですが、とても人気があります。」

×...Coffee, **that** tastes bitter, is very popular.

関係代名詞の制限用法 (主格)

—先行詞が人の場合 — who / that

I have a sister **who / that** has gone to America.

「私には渡米した姉(妹)がいる。」

(何人か姉妹がいて、そのうちの一人が渡米した、というニュアンス)

—先行詞が人以外の場合 — which / that

He lives in the country **which / that** rigidly suppresses the right of free speech.

「彼は言論の自由を厳しく抑圧する国に住んでいる。」

関係代名詞の制限用法 (目的格)

通例、関係代名詞は省略される。

ただし前置詞の直後の関係代名詞は省略されない。また前置詞の直後では、whoは用いられない。

— 先行詞が人の場合 — whom/ who / that

The doctor (whom/ who / that) you saw yesterday is my cousin.

「昨日あなたが掛かった医者は私のいとこです。」

I have a crush on the girl **at whom** you're looking. (文語的)

= I have a crush on the girl you're looking **at**. (一般的)

「あなたが見ている女の子に私は片思いをしている。」

— 先行詞が人以外の場合 — which/ that

The laptop (which / that) I bought yesterday was broken.

「昨日買ったラップトップは故障していた。」

関係代名詞の制限用法 (所有格)(1)

The boy **whose** bicycle was stolen reported its loss to the police. (関西学院大)

「自転車を盗まれたその少年は、警察に紛失を届け出た。」

I know a little girl **whose** parents have passed away and **who** is being raised by her grandmother. (武蔵大・改)

「両親を亡くし、祖母に育てられている小さい女の子を知っています。」

I gave financial assistance to some of the children **whose** arms or legs had been chopped off by the rebels.

「反乱軍によって腕や脚をたたき切られた子供たちの一部に財政援助をした。」

関係代名詞の制限用法 (所有格)(2)

物を指すwhose

- Get me the novel **whose** cover is red.

「赤い表紙の小説を取って。」

無理に関係詞を用いず、

Get me the novel with the red cover.

と書く方が自然。

thatの方が好まれる ケース(1)

先行詞の意味が強く限定される時、つまり先行詞に**最上級**・**序数**・**the only**・**the same**などがつくとき、関係代名詞は**that**の方が好まれる。

e.g.

The **sexiest** man (**that**) I've ever seen is Matt Damon.

「今まで見た中で最もセクシーな男性はマット・デーモンです。」

The **first** laptop (**that**) I purchased is dynabook.

「最初に購入したラップトップはダイナブックです。」

thatの方が好まれる ケース(2)

先行詞がall, any, every, noなどを含むとき、関係代名詞はthatの方が好まれる。

e.g.

Everyone that likes dogs is kind.

「犬好きな人はみな親切です。」

Nobody that knew him criticized him.

「彼を知る人は誰も彼のことを悪く言いませんでした。」

関係代名詞の非制限用法 (主格)

Sae, **who** killed one of her friends, is now in prison.

「サエは友達を殺して、現在刑務所で服役している。」(接続詞 **and** を補って解釈)

David said that he had nothing to do with the incident, **which** is hard to believe. (日本女子大)

「その事件とは何の関係もないとデイビッドが言ったが、それは信じがたい。」(接続詞 **but** を補って解釈)

He told me that Cameron had got married to Tom, **which** turned out to be a complete lie.

「キャメロンはトムと結婚したと彼は言ったが、それは全くのウソであることがわかった。」(接続詞 **but** を補って解釈)

関係代名詞の非制限用法 (目的格)

関係代名詞の省略は不可

I didn't want to see Ken, **whom** / **who** I hadn't met before.

「ケンに会いたくなかった。というのは会うのが初めてだったからだ。」(接続詞**for**を補って解釈)

This bicycle, **which** my mom bought for me, is so easy to ride.

「この自転車は母が買ってくれたもので、とても乗りやすい。」(接続詞**and**を補って解釈)

Many department stores have a playground on the roof, to **which** children go. (獨協大・改)

「多くのデパートは屋上に遊び場を持っていて、そこには子供たちが行く。」(接続詞**and**を補って解釈)

関係代名詞の非制限用法 (所有格)

Michelle, **whose** husband is a famous actor, lives in Hollywood.

「ミシェルは旦那が有名な俳優をしていて、ハリウッドに住んでいる。」(接続詞**and**を補って解釈)

関係代名詞what

- 関係代名詞**what**は先行詞(=**the thing(s)**)を含むので、
「～すること」「～するもの」と訳される。
- **what**が導く節は、文中で名詞の役割を担う。
(=文中で(S), (C), (O), (前置詞のO)の位置にくる)。

S — What made me furious (S) was (V) his attitude (C).
= The thing that / which made me furious was his attitude.

C — This (S) is (V) exactly what we've wanted (C).
= This is exactly the thing (that / which) we've wanted.

O — Choose (V) what you want (O).
= Choose the things (that / which) you want.

前置詞のO — Tell (V) me (O) about (Prep) what you saw the other day (O).

= Tell me about the thing (that / which) you saw the other day.

關係副詞

関係副詞の判別(1)

関係副詞は、先行詞によって形が変わる。

— 先行詞がtimeを表す語 — 先行詞なし	when (= in/on which)
— 先行詞がplaceを表す語 — 先行詞なし	where (=in/at which)
— 先行詞がreason — 先行詞なし	why (= for which)
— 先行詞なし	how

関係副詞の判別(2)

e.g. the time/ day/ moment **when** SV

the place/ house **where** SV

the reason **why** SV

— 関係副詞**why**は省略可能。関係副詞**when**は先行詞がthe time / the dayのとき、関係副詞**where**は先行詞がthe placeのときにそれぞれ省略可能。

— 3つの関係副詞の中で、**where**の使用頻度がダントツ高い。というのは**where**が「場所」だけでなく、「場合」や「状況」も指すからである。

e.g. the case (場合)/ situation (状況) **where** SV

関係副詞の制限用法 (when)

Do you remember the day **when** you first met him?

「初めて彼に会った日を憶えていますか。」

= Do you remember the day **on which** you first met him?

The 18th century was the period **when** Britain had the Industrial Revolution.

「18世紀は英国が産業革命を経験した時代でした。」

= The 18th century was the period **in which** Britain had the Industrial Revolution.

That was **when** I first laid my eyes on her.

「その時、初めて彼女を見た。」

関係副詞の制限用法 (where)

I've found a nice beach **where** I can enjoy swimming even in February. (センター試験・改)

「2月でも水泳が楽しめるいいビーチを見つけた。」

=I've found a nice beach **at which** I can enjoy swimming even in February.

The hotel **where** we spent our vacation was quite full.

「休暇を過ごしたホテルはかなり混み合っていた。」

=The hotel **at which** we spent our vacation was quite full.

This is **where** we first met. 「ここが私たちが最初に出会った場所です。」

関係副詞の制限用法 (why)(1)

He doesn't know the reason **why** she hates him.

「彼女に嫌われている理由を彼は知らない。」

= He doesn't know the reason **for which** she hates him.

New Zealand's economic prosperity relies on selling our goods and services to the rest of the world. That's **why** we've been working hard on behalf of all New Zealanders to open more doors to free trade. (PM John Key)

「ニュージーランドの経済的な繁栄は商品（＝財貨）とサービスを他国に売ることによって懸かっている。ゆえに我々はニュージーランド人全員のために自由貿易を行う機会を増やすよう一生懸命頑張っている。」

関係副詞の制限用法 (why)(2)

区別しよう！

— That's why SV 「だから～」

He is kind. That's **why** I like him.

「彼は親切です。だから彼のことが好きです。」

— That's because SV 「それは～だからである」

I like him. That's **because** he is kind.

「彼が好きです。それは彼が親切だからです。」

関係副詞の制限用法 (how)

関係副詞howは先行詞をとらない。

That's how he got married to her.

「そんなふうにして彼は彼女と結婚した。」

= That's the way he got married to her.

✕ That's the way how he got married to her.

関係副詞の非制限用法

whenと**where**のみ。**why**と**how**にこの用法はない。

On my birthday, **when** I had an entrance exam, I got dead tired.

「誕生日は入学試験があって、ひどく疲れた。」

I went to his house, **where** we ate sushi.

「彼の家に行き、（そこで）寿司を食べた。」

With such a tense and violent situation, **where** mutual trust is all but nonexistent, one might be tempted to conclude that this conflict will never be resolved.

Jillian Schwedler and Deborah J. Gerner, ed., *Understanding the Contemporary Middle East*. (Colorado: Lynne Rienner Publishers, Inc, 2008), 132.

「そのように緊迫して暴力が横行する状況では、お互いの信用はほぼ存在せず、この紛争は決して解決されないと結論付けることに走る人もいるかもしれない。」

Conclusion (1)

- 関係詞は、同一の情報を繰り返すことなく節と節を結び付ける接着剤の役割を果たす。
- 関係詞は関係代名詞と関係副詞の2種類に分けられる。関係代名詞は関係詞節内で代名詞の役割を担うが、関係副詞は関係詞節内で副詞の役割を担う。
- 関係代名詞と関係副詞はそれぞれ制限[限定]用法と非制限[継続]用法を有する。
 - 制限用法の場合、関係詞が導く節は形容詞として先行詞をうしろから修飾し、その意味を制限・限定する。
 - 非制限用法の場合、関係詞が導く節は先行詞に補足情報を付け加えた意味になる。

Conclusion (2)

- 関係代名詞は格・先行詞によって形が異なり、関係副詞は先行詞の種類(時・場所・理由)によって形が異なる。
- 目的格の関係代名詞は、
 - 制限用法の場合 → 省略するのが普通
 - 非制限用法の場合 → 省略できない
- 関係代名詞whatはそれ自体に先行詞(=the thing(s))を含むので、関係代名詞whatの直前に先行詞はこない。